

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

|      |  |   |       |                 |            |
|------|--|---|-------|-----------------|------------|
| 施設名称 |  | 15 東京都台東区立一葉記念館   | 部課名   | 文化産業観光部文化振興課    |            |
| 選定方法 |  | <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募 | 指定管理者 | 公益財団法人台東区芸術文化財団 |            |
|      |  |   | 指定期間  | R7.4.1          | ～ R12.3.31 |

| 1. 施設及び事業の概要 |   |
|--------------|---|
| (1)          | [設置目的] 樋口一葉は、龍泉寺町に住み、その体験を基に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。   |
| (2)          | [所在地] 台東区竜泉3-18-4<br>[規模] 延べ床面積861.04㎡、鉄筋コンクリート造地上3階地下1階。塔屋、展示室、收藏庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室  |
| (3)          | [委託事業] 樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備の保全。施設使用料徴収等。<br>[自主事業] 特別展「樋口一葉の奇跡の十四か月」、企画展「樋口一葉の初期小説」、一葉祭「作品展示、ボランティアガイドと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり、記念講演「誠にわれは女成りけるものを」及び朗読「たけくらべ」、特別講座「朗読サロン（Youtube公開）、くずし字解読講座、文化カレッジ「一葉の生きた明治「十三夜」を読む」、文化ボランティアガイドの育成等。 |
| (4)          | [利用者] 区民、一般来館者<br>[利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  |
| (5)          | [開館日・時間] 休館日(月曜日、12/29～1/3、特別整理期間等)を除く。<br>午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)  |
| (6)          | [人員体制] 6名<br>(内 訳) 派遣職員(2) 研究員(1) 会計年度任用職員(1) 特例嘱託員(2)<br>(前年増減) 増減なし   |

| 2. 予算決算 |                 | R5予算       | R5決算       | R6予算       | R6決算       |
|---------|-----------------|------------|------------|------------|------------|
| 収入      | 委託料(指定管理料)      | 19,197,000 | 16,952,180 | 19,260,000 | 16,921,820 |
|         | 利用料金収入          | 0          | 0          | 0          | 0          |
|         | その他収入( )        | 0          | 0          | 0          | 0          |
|         | 計               | 19,197,000 | 16,952,180 | 19,260,000 | 16,921,820 |
| 支出      | 人件費             | 0          | 0          | 0          | 0          |
|         | 光熱水費            | 5,940,000  | 4,777,669  | 6,360,000  | 4,807,397  |
|         | 維持管理費(委託料・賃借料)  | 10,633,000 | 10,095,930 | 10,916,000 | 10,585,472 |
|         | 修繕費             | 300,000    | 287,050    | 300,000    | 269,500    |
|         | 事業費             | 0          | 0          | 0          | 0          |
|         | その他支出( 通信運搬費等 ) | 2,324,000  | 1,791,531  | 1,684,000  | 1,259,451  |
|         | 計               | 19,197,000 | 16,952,180 | 19,260,000 | 16,921,820 |
| 収支      |                 |            | 0          |            | 0          |

| 3. 活動指標 | 単位 | (目標値)R8年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 |
|---------|----|-----------|------|------|------|
| 開館日数    | 日  | 291       | 291  | 291  | 245  |
|         |    |           |      |      |      |

| 4. 成果指標 | 単位 | (目標値)R8年度 | R4年度  | R5年度  | R6年度  |
|---------|----|-----------|-------|-------|-------|
| 入館者数    | 人  | 9,000     | 7,292 | 9,032 | 7,563 |
|         |    |           |       |       |       |

## 5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

令和6年度は展示室LED化工事により2カ月間休館したが、開館時の1日平均の入館者数は前年度と同数であった。また、小説掲載誌面映像付きの朗読動画を4作品9本作製してYouTubeに公開し、オンラインでもお楽しみいただく。

## 6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)  
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

|                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 管理の適正性      | 法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。   |
| 20 / 20 点       | 事業計画書・報告書等の作成・提出をはじめ必要な手続きを適切に行うとともに、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。   |
| (2) 事業の運営       | 職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。  |
| 20 / 20 点       | 特別展は「にがりえ」「たけくらべ」等多数の名作を世に送り出した「奇跡の14か月」に書かれた作品について、一葉の人脈、文壇評価、出版社の戦略等、背景と共に紹介した。会期中、映画「にがりえ」を映し、展示と併せてお楽しみいただいた。 |
| (3) 施設の維持管理     | 建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。  |
| 20 / 20 点       | 備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕について、区に迅速に連絡し適正な対応を行った。  |
| (4) サービス向上の取り組み | 利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。   |
| 20 / 20 点       | 一葉記念館の展示内容等を説明するボランティアガイドの養成を継続し、毎週土曜日、一葉祭等でガイドいただく。一葉祭でのゆかりの地めぐりを含めて、合計で511名の方にご利用いただいた。                         |
| (5) 収入支出        | 予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。  |
| 20 / 20 点       | 図録・小冊子の収入は、予算額に対して19%の増となった。  |

## (6) 優れた取り組み

### 《加点項目》

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

## 7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

|                                       |  |                               |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|
| <p><b>良好</b></p> <p>( 100 / 110点)</p> | <p>【所見】</p> <p>特別展では晩年の名作、企画展では一葉の小説の作り方をテーマに展示を行う。明治時代に、筆一本で家族を支えようと、身に着けた教養と自ら構築した人脈を支えに、数々の名作を発表した一葉の軌跡を紹介し、ご好評をいただく。</p> | <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|